

# 9月定例会 議会報告

裏面



★「一気通貫」交付金減額問題とこれからの町行政のあり方について★  
 栖原区の「一気通貫」事業につきまして、町民のみなさまからは「町民1人当たり約2万3000円も負担させられるのは納得できない」「責任の所在はどうか」といった声が多数寄せられていることを指摘した上で、○町長の責任について○なぜこのような事態が発生したのか○約2億7000万円の負担に見合う町民に還元される事業なのか○再発防止と

☆何が明らかになった時点が到達点なのか○住民説明会を検討してはどうか○町行政の透明性の確保について再質問。

☆町長からの答弁☆  
 「特別調査委員会で一定の結論が出た段階で、私自身の責任について報告させてもらいたい」「原因を徹底的に究明し、町民のみなさんに「説明することが必要である」「運営施設については、町民のみなさんに、施設ができてよかったと言ってもらえるように、行政として指導・協力していきたい」「組織体制をいま一度考え、各部署での相談・判断・情報共有する認識を持つことを徹底したい」と答弁がありました。

町行政のあり方について認識を問いました。

○一気通貫の問題に関しては、特別調査委員会にて、「当初計画より変更が生じた時点で、県や国との担当者との協議を持たなかった」「課内・係内で情報共有ができていなかった」ことが原因との報告がありました。しかし関係者からのヒアリングでは不確定な内容が多く、計画変更の経緯や県・国と変更協議を持たなかった理由等、根本的な原因が未だ明らかになっていません。今後、第三者委員会の設置が決まり、調査が進められる予定になっています。日本共産党は、情報発信と真相究明に務めてまいります。

★町長からの答弁★  
 「県に対して説明ができていなかった」とが原因。第三者委員会の調査でも、それ以上のことはあまりないのではないか」「10月の広報から説明をしていきたい」「住民説明会もやぶさかではない」「町民に開かれていない町政ではなく、住民のみなさんの意見も十分聞いた上でやっていきたい」と答弁がありました。

